

NY マーケットレポート (2014 年 11 月 19 日)

NY 市場では、序盤に発表された 10 月の米住宅着工件数が市場予想を下回り、2 ヶ月ぶりに前月比でマイナスとなったことを受けて、ドルが主要通貨に対して軟調な動きとなった。その後は、FOMC の議事録公開を控えて、ドル円・クロス円は小動きの展開が続いた。そして、FOMC では、一部メンバーが『相当な期間』との文言の削除を要請したが、一方では『相当の期間』との文言を削除すると、著しい政策姿勢の変化と受け取られるかもしれないとの懸念が表明されていたことが明らかとなり、やや乱高下するなど思惑が交錯する動きとなった。その後は、日米の金利差拡大観測を背景にドル買い・円売りが優勢となり、ドル/円は一時 118.09 まで上昇し、2007 年 8 月以来の高値を付ける動きとなった。

2014/11/19 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	117.38	117.42	116.82
EUR/JPY	147.12	146.99	146.37
GBP/JPY	183.32	183.42	182.54
AUD/JPY	101.65	101.97	101.46
EUR/USD	1.2535	1.2537	1.2512

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	117.66	117.28
EUR/JPY	147.54	147.01
GBP/JPY	184.54	183.11
AUD/JPY	101.77	101.33
EUR/USD	1.2548	1.2524

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17288.75	-55.31
ハンセン指数	23373.31	-155.86
上海総合	2450.99	-5.38
韓国総合指数	1966.87	-0.14
豪ASX200	5368.84	-30.85
インドSENSEX指数	28032.85	-130.44
シンガポールST指数	3334.56	+20.83

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6696.60	-12.53
仏CAC40	4266.19	+3.81
独DAX	9472.80	+16.27
ST欧州600	339.15	-0.15
西IBEX35指数	10376.80	-56.10
伊FTSE MIB指数	19379.92	+26.97
南ア 全株指数	50150.48	-224.57

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	117.94	118.09	117.41
EUR/JPY	148.05	148.11	147.37
GBP/JPY	184.98	185.09	184.17
AUD/JPY	101.66	101.78	101.38
NZD/JPY	92.71	92.83	92.34
EUR/USD	1.2554	1.2600	1.2524
AUD/USD	0.8619	0.8657	0.8602

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17685.73	-2.09
S&P500	2048.72	-3.08
NASDAQ	4675.71	-26.73
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	14980.15	+7.18
ボリス指数	44118.13	+626.68
ボベスパ指数	53402.81	+1340.95

11/20 経済指標スケジュール

08:50	【日】10月貿易収支
10:45	【中】11月HSBC製造業PMI
14:00	【日】11月日銀・金融経済月報
15:00	【日】10月工作機械受注
16:00	【日】10月コンビニエンスストア売上高
16:00	【独】10月生産者物価指数
17:00	～ 18:00
	【仏】【独】【欧】11月製造業PMI・非製造業PMI
18:00	【ノルウェー】3Q GDP
18:30	【英】10月小売売上高指数
21:00	【トルコ】政策金利発表
22:00	【ポーランド】10月生産者物価指数
22:20	【南ア】政策金利発表
22:30	【米】新規失業保険申請件数
22:30	【米】失業保険継続受給者数
22:30	【米】10月消費者物価指数
23:00	【メキシコ】9月小売売上高
00:00	【米】10月中古住宅販売件数
00:00	【欧】11月消費者信頼感
00:00	【米】10月景気先行指標総合指数
00:00	【米】11月フィラデルフィア連銀景況指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1193.90	-3.20
NY 原油	74.58	-0.03
CMEコーン	376.00	-9.00
CBOT 大豆	1004.75	-18.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.52%	0.50%
3年債	0.97%	0.95%
5年債	1.64%	1.61%
7年債	2.06%	2.02%
10年債	2.36%	2.32%
30年債	3.08%	3.05%

11/20 主要会議・講演・その他予定

- ・タルーロFRB理事 講演
- ・クリーブランド連銀総裁 講演
- ・米10年TIPS債入札

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数（前週比） 4.9%（前回 -0.9%）



（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

◀ MBA 住宅ローン申請指数 ▶

	11/14	11/7	10/31	10/24	10/17	10/10	前年同期
申請指数	4.9	-0.9	-2.6	-6.6	11.6	5.6	-13.3
購入	11.7	1.1	2.6	-5.0	-4.8	-0.7	-6.7
借換え	0.9	-1.9	-5.5	-7.4	23.3	10.6	-17.3
固定金利	5.2	-0.6	-1.7	-5.3	9.9	5.3	-12.8
変動金利	1.2	-4.3	-12.3	-18.2	30.7	8.9	-19.3

(%)

ローン契約平均金利 (%)

固定金利 30 年 4.18 4.19 4.17 4.13 4.10 4.20

固定金利 15 年 3.38 3.38 3.38 3.28 3.28 3.41

22:00

ドル/円 117.62 ユーロ/円 147.40 ユーロ/ドル 1.2531

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6705.17	-3.96	ダウ INDEX FUTURE	17646	-8
仏 CAC40	4284.45	+22.07	S&P500 FUTURE	2047.50	-1.10
独 DAX	9513.59	+57.06	NASDAQ FUTURE	4238.25	+0.25

（出所：SBILM）

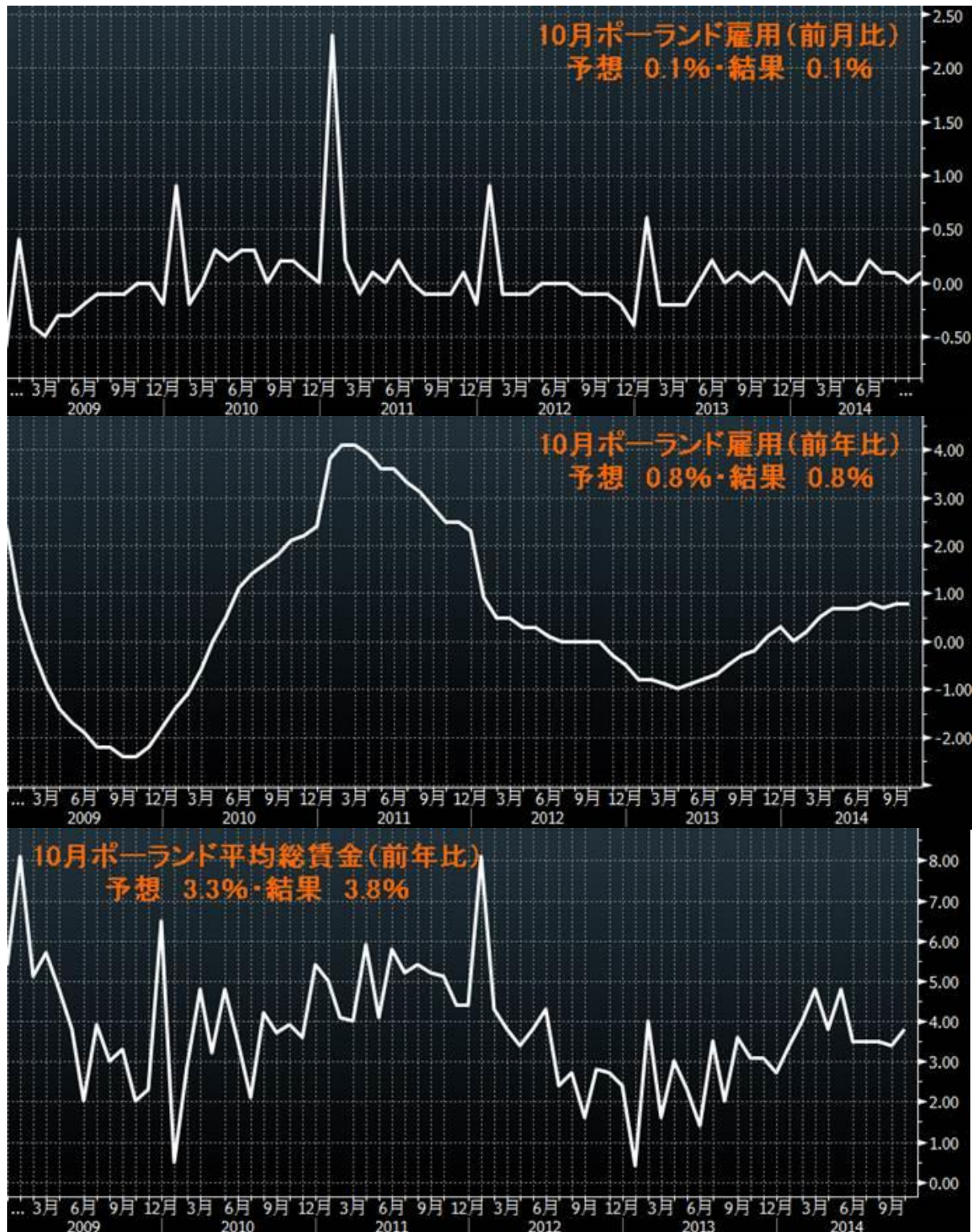
22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月ポーランド雇用（前月比） 0.1%（予想 0.1%・前回 0.0%）

10月ポーランド雇用（前年比） 0.8%（予想 0.8%・前回 0.8%）

10月ポーランド平均総賃金（前年比） 3.8%（予想 3.3%・前回 3.4%）



22 : 30

≪ 経済指標の結果 ≫

10 月米住宅着工件数 100.9 万件（予想 102.5 万件・前回 103.8 万件）
 前回発表の 101.7 万件から 103.8 万件に修正

10 月米住宅着工件数（前月比） -2.8%（予想 0.8%・前回 7.8%）
 前回発表の 6.3%から 7.8%に修正

10 月米建設許可件数 108.0 万件（予想 104.0 万件・前回 103.1 万件）
 前回発表の 101.8 万件から 103.1 万件に修正

10 月米建設許可件数（前月比） 4.8%（予想 0.9%・前回 2.8%）
 前回発表の 1.5%から 2.8%に修正



（出所：ブルームバーグ）

経済指標データ

≪ 米住宅着工・許可件数 ≫

	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
住宅着工件数	100.9	103.8	96.3	109.8	90.9	98.4	106.3
一戸建て住宅	69.6	66.8	64.1	65.2	59.3	63.4	64.9
集合住宅	31.3	37.0	32.2	44.6	31.6	35.0	41.4
許可件数	108.0	103.1	100.3	105.7	97.3	100.5	105.9
一戸建て住宅	64.0	63.1	62.7	63.1	63.4	61.5	59.7

集合住宅・・・ 44.0・・・ 40.0・・・ 37.6・・・ 42.6・・・ 33.9・・・ 39.0・・・ 46.2

前月比 (%)

住宅着工・・・ 2.8・・・ 7.8・・・ -12.3・・・ 20.8・・・ -7.6・・・ -7.4・・・ 11.9

住宅建設許可・・・ 4.8・・・ 2.8・・・ -5.1・・・ 8.6・・・ -3.2・・・ -5.1・・・ 5.9

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、米 FOMC の議事録公開を控えて様子見ムードが強く、序盤から小動きの展開となっている。ただ、米住宅関連の経済指標が予想を下回る結果となったことから、ドルは一時下げる場面もあった。

23 : 34

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17695.31	-28.51
ナスダック	4691.92	-10.52

(出所 : SBILM)

《 海外の話題 》

米国全土が 11 月としては異例の寒さに見舞われ、NWS (国立気象局) によると、ハワイ州を含む全米 50 州で 18 日に気温が氷点下を観測。ニューヨーク州西部では大雪が降り、エリー郡の一部では 1.5 メートルの積雪が確認された模様。同州知事は 10 郡で非常事態を宣言。

0 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、ダウが前日比最高値を更新したことから、一旦利益を確定する売りが先行するなど、主要株価は軟調な動きとなった。ただ、米 FOMC の議事録公表を控え、内容を見極めようと積極的な取引を手控えるムードも強かった。

0 : 35

《 EIA 米週間在庫統計 》

原油在庫・・・ 261 万バレル増加

ガソリン在庫・・・ 103 万バレル増加

留出油在庫・・・ 206 万バレル減少

《 経済指標のポイント 》

(1) MBA (全米抵当貸付銀行協会) の住宅ローン申請指数は、前週比-0.9%と 1 ヶ月ぶりの上昇となった。購入指が 2013 年 3 月以来の大幅な上昇となったことが押し上げ要因となった。

①構成指数では、購入指数が+11.7%と 3 週連続で上昇し、2013 年 3 月以来の大幅な上昇となった。また、借り換え指数も+0.9%となった。

②30 年固定金利型の住宅ローン金利は 4.18% (前週 4.19%)、15 年固定金利型は 3.38%と 3 連続で 3.38%となった。

③申請全体に占める借り換えの割合は 61.4%（前週 62.9%）と、5 週間ぶりの低水準となった。

（2）10 月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比-2.8%の 100.9 万件となり、2 ヶ月ぶりにマイナスとなった。前年同月比では+7.8%となった。米住宅市場は緩やかな回復基調を保っているが、住宅ローン審査の厳しさなどが販売を抑制しており、回復ペースの遅さが指摘されている。

①着工件数は、一戸建て住宅が+4.2%の 69.6 万件と 2013 年 11 月以来の高水準となったものの、それ以外の集合住宅は-15.4%の 31.3 万件となった。

②地域別では、北東部が-16.4%、中西部が-18.5%、西部が-10.9%となったものの、最大市場の南部は+10.1%となった。

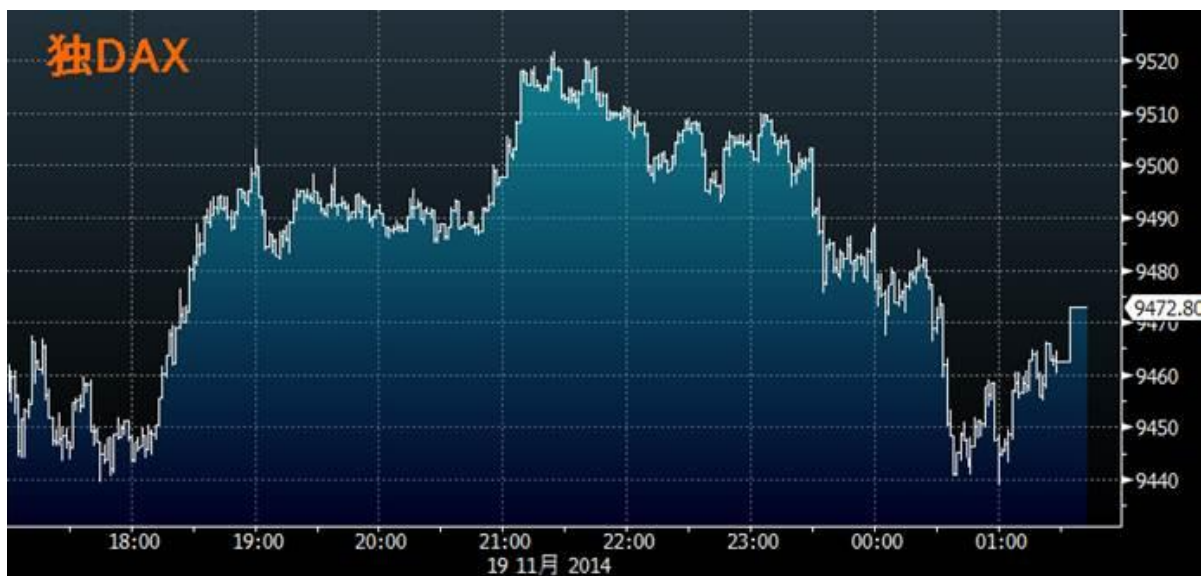
③着工件数の先行指標となる建設許可件数は、前月比+4.8%の 108.0 万件と 2 ヶ月連続のプラスとなり、件数ベースでは、2008 年 6 月以来の高水準となった。前年同月比では+1.2%となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6696.60	-12.53
仏 CAC40	4266.19	+3.81
独 DAX	9472.80	+16.27
ストック欧州 600 指数	339.15	-0.15
ユーロファースト 300 指数	1359.88	-0.34
スペイン IBEX35 指数	10376.80	-56.10
イタリア FTSE MIB 指数	19379.92	+26.97
南ア アフリカ全株指数	50150.48	-224.57

（出所：SBILM）

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、欧州株式、まちまちの結果となった。英 FT100 は、大手郵便が業績先行き懸念から大幅に下落したことが圧迫要因となった。独 DAX は、ECB による追加緩和への期待が市場心理を支え小幅高となった。



（出所：ブルームバーグ）

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17674.95 (-12.87)、 S&P500 2045.93 (-5.87)、 ナスダック 4675.38 (-27.06)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、米 FRB が公表する 10 月分の FOMC 議事録で米景気に対する楽観的な見方が示され、来年の利上げが示唆されるとの警戒感から注文が先行した。

午前の利回りは、30 年債が 3.06% (前日 3.04%)、10 年債が 2.35% (2.32%)、7 年債が 2.05% (2.02%)、5 年債が 1.64% (1.61%)、3 年債が 0.99% (0.95%)、2 年債が 0.53% (0.50%)。

《 欧州のポイント 》

①英中銀の今月の MPC (金融政策委員会) の議事録では、7 対 2 で政策金利を過去最低の 0.50% に据え置くことを決めた。多数派の一部が物価上昇の圧力が高まる可能性について懸念を表明し始めたことが明らかになった。また、ユーロ圏のほか、国内住宅市場が英景気回復に及ぼすリスクへの言及があったが、同時に企業投資の伸びが「上向き」で賃金上昇ペースが速まる兆候があるとした。今月の MPC でも、マカファーティ、ウィール両委員は経済状況が正当化するとして政策金利の 0.75% への引き上げを主張。労働市場での圧力が高まるとみるべきだと述べたという。

②スペイン中銀総裁は、同国の経済成長見通しは世界経済鈍化のリスクにさらされており、年末の財政赤字削減目標の達成に向けた取り組みを特に地方で強化する必要があるとの認識を示した。また、財政赤字を対 GDP 比で 5.5% にするという今年の目標は達成可能との見解を示した。ただ、2015 年の 4.2% 目標はより困難になるとした。

③ノルウェー中銀総裁は、過去数カ月間の通貨クローネの下落は様々な経路によって恩恵をもたらすとの見解を明らかにした。クローネは今年 5 年ぶりの安値を付けた後、やや反発したと指摘、クローネは 9 月上旬の 1 ユーロ = 8.09 クローネから今年 5 日には 8.67 クローネまで下落した。

④イタリア中銀副総裁は、ユーロ圏はデフレに陥る寸前の状況にあり、ECB がインフレ目標を達成できるかどうかはその信頼性に関わる問題だと警告した。ユーロ圏の 10 月のインフレ率が 0.4% にとどまり、18 加盟国のうち 2 カ国のみが 1% を上回る水準を確保したことに言及し、「ユーロ圏はデフレに陥る寸前」と指摘。そのうえで、低インフレの主要因は弱い需要で、長期的な予想インフレ率が不安定化するリスクがあるとした。副総裁は、「ECB は物価安定目標を達成できるかどうかをめぐり、その信頼性が問われている」との見解を示した。

4 : 00

《 FOMC 声明 》

- ・「インフレ期待の低下を警戒する必要」
- ・「国外経済の鈍化から受ける影響は限定的」
- ・「大半の参加者、景気見通しはほぼ均衡と判断」
- ・「協議後、金融市場の混乱に言及しないことを決定」
- ・「一部の当局者は成長鈍化による物価低下を警戒」
- ・「一部参加者は『相当な期間』の文言削除を要請した」
- ・「その他の参加者は『相当な期間』を有用と判断」



(出所: ネットダニアー)

4 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 3.20 ドル安の 1 オンス=1193.90 ドルで取引を終了した。

5 : 30

NY 原油は、中心限月が前日比 0.03 ドル安の 1 バレル=74.58 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1193.90	-3.20
NY 原油	74.58	-0.03

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

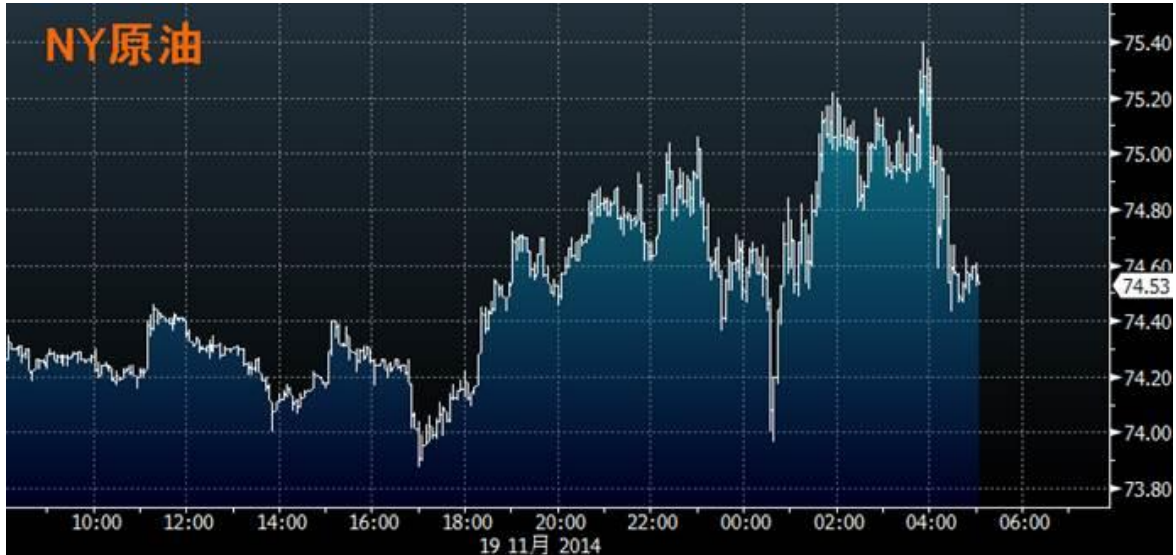
NY 金は、スイスで中銀に金準備の積み増しを義務づけるかどうかを問う国民投票が今月 30 日に実施されるのを前に世論調査で反対派が賛成派を上回ったとの報道を受けて売りが先行した。ただ、その後は買い戻しも入り、下げ幅は縮小した。



(出所: ブルームバーグ)

<< NY 原油市場 >>

NY原油は、米石油在庫統計で、原油在庫が市場の予想に反して増えたことから、需給の緩みへの懸念が強まって売りが優勢となった。ただ、OPEC（石油輸出国機構）が今月の総会で減産に動く可能性があるかどうかを見極めたいとの思惑も強く、下げ幅は限定的となった。



（出所：ブルームバーグ）

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17685.73	-2.09	17712.26	17624.50
S&P500 種	2048.72	-3.08	2052.14	2040.37
ナスダック	4675.71	-26.73	4696.21	4655.72

（出所：SBILM）

<< 米株式市場 >>

米株式市場は、ダウが前日比最高値を更新したことから、一旦利益を確定する売りが先行するなど、序盤から主要株価は軟調な動きとなった。ただ、米 FOMC の議事録公表を控え、内容を見極めようと積極的な取引を手控えるムードも強く、その後は、終盤まで小動きの展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 63 ドル安まで下げる場面もあった。しかし、その後は一時プラス圏まで値を戻す動きも見られた。



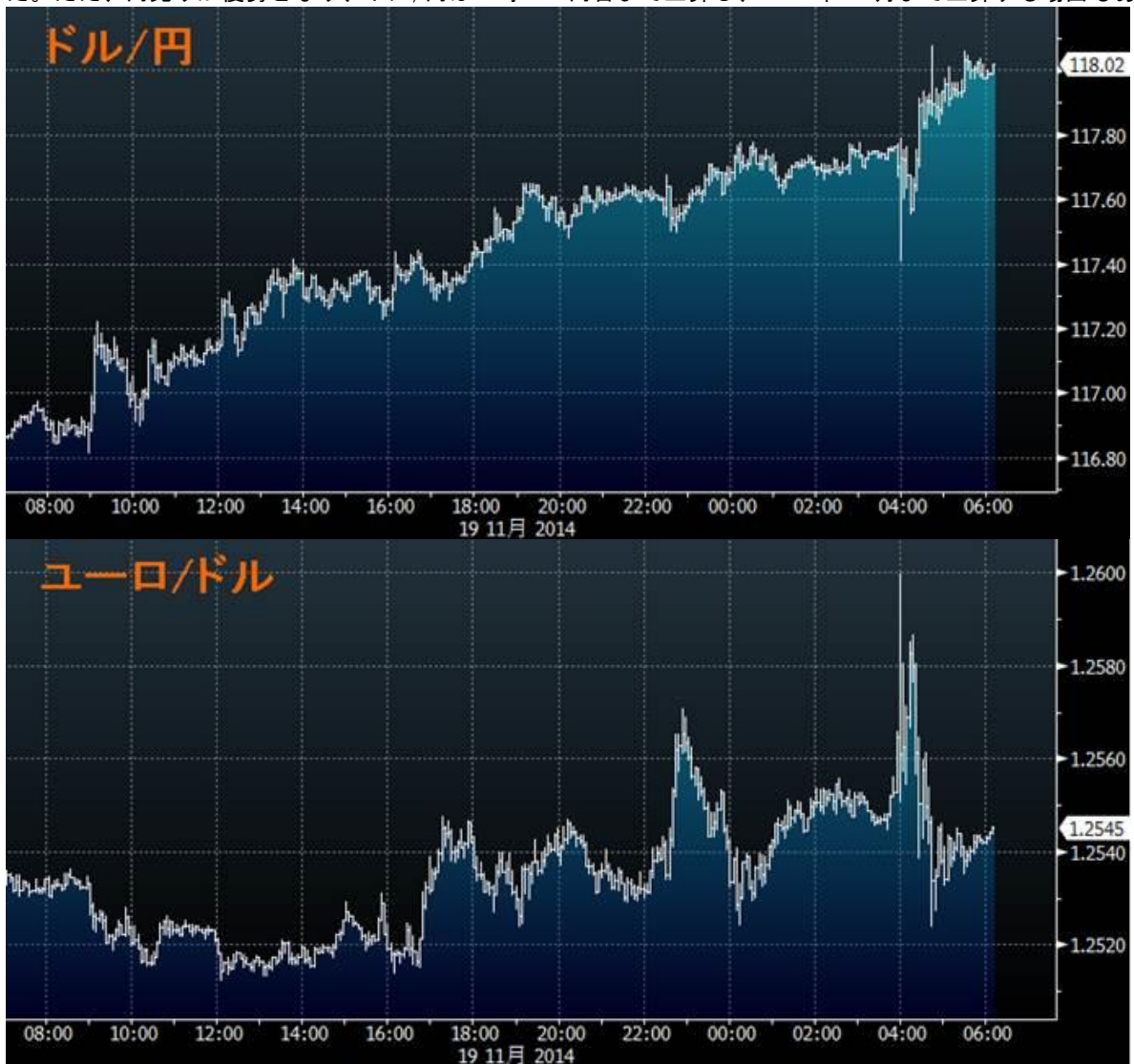
（出所：ブルームバーグ）

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	117.94	118.09	117.41
EUR/JPY	148.05	148.11	147.37
GBP/JPY	184.98	185.09	184.17
AUD/JPY	101.66	101.78	101.38
NZD/JPY	92.71	92.83	92.34
EUR/USD	1.2554	1.2600	1.2524
AUD/USD	0.8619	0.8657	0.8602

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、FOMC の議事録公開を控えて様子見ムードの強く、序盤のドル円・クロス円は小動きの展開となった。その後は、下落した株価が値を戻す動きとなった堅調な動きも見られたが、FOMC の議事録公開を控えて様子見ムードも強く、やや値動きは限定的となった。そして、FOMC 議事録を受けて思惑が交錯し、乱高下する場面もあった。ただ、円売りが優勢となり、ドル/円は一時 118 円台まで上昇し、2008 年 10 月まで上昇する場面もあった。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。